

2018年12月18日

シリコンバレーにデータセンターサービスを拡大 ～免震構造を採用した都市型データセンターを建設～

NTTコミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）は、米国のグループ会社 RagingWire Data Centers（以下 RagingWire）を通じて、「カリフォルニア シリコンバレー 1 (SV1) データセンター」（以下 SV1）を建設します。SV1 は、シリコンバレーエリアの1つである米国カリフォルニア州サンタクララ市において、サーバールーム面積約 5,900m² (2,300 ラック相当)、電力供給容量 16MW を 2020 年 7 月以降にサービス開始の予定です。

1. 背景

全世界のデータセンター市場の 40%以上を占める米国では、活発な企業のクラウド利用など、ICT 環境のアウトソース拡大が続いています。

NTT Com は、米国においてデータセンターを 12 拠点提供しており、そのうち RagingWire は、東海岸のバージニア州アッシュバーン、中西部のテキサス州ダラス、西海岸のカリフォルニア州サクラメントに 7 拠点を展開しています。シリコンバレーは、バージニア州アッシュバーンに次ぐ全米第 2 位^{*1}のデータセンター市場でありながら、依然として供給不足が続いています。今回 SV1 を建設することで、お客さまの旺盛な需要に応え、米国でのデータセンター市場におけるプレゼンスを拡大します。

[別紙 1] 米国のデータセンター

「カリフォルニア シリコンバレー 1 (SV1) データセンター」の外観イメージ



2. 概要・特長

サンタクララ市は、高信頼かつ低価格な電力供給、充実したインターネット接続環境など、データセンターを建設する環境が揃っており、米国におけるデータセンター集積地の 1 つです。SV1 はノーマン・Y・ミネタ・サンノゼ国際空港(SJC)から車で約 10 分の利便性が高い場所に、シリコンバレーエリアでは稀少な免震データセンターとして建設されます。

NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室
NTT Communications Corporation Public Relations Office
〒100-8019 東京都千代田区内幸町 1-1-6
1-1-6 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan
Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

(1) 充実した機能と柔軟性

SV1 は、NTT Com の「Nexcenter™」※2 が独自に定める 300 項目以上のグローバル統一設備・運用基準に準拠し、電力・空調・通信設備の冗長化に加え、テロにも強い強固なセキュリティを提供します。

サンタクララ市は、シリコンバレーエリアにおいて唯一、市営会社から電力が供給されます。これにより、SV1 では、周辺と比べて 25~40% 割安な電力料金を実現します。また、お客様のシステムや予算に合わせて、N+1、N+2 構成など、さまざまなオプションを提供します。

加えて、サンタクララ市は近隣 IX の中間点に位置し、インターネット接続環境が充実しています。SV1 のネットワークは、2 ルートで引き込まれたファイバーにより、NTT Com をはじめとする多数の通信事業者やクラウド事業者と接続するキャリアニュートラルな環境により、高い可用性、耐障害性、広帯域容量を確保できます。また SV1 は、RagingWire が保有する米国内の各データセンター間を完全冗長で結ぶ高速大容量のファイバーネットワークで接続されます。これにより、お客様は、安全かつ迅速にディザスタリカバリ、ロードバランシング、バックアップ、レプリケーションを実現できます。

このように充実した機能と柔軟性を提供する SV1 は、グローバルに展開する大手クラウドサービス事業者、ICT サービス事業者、日系企業を含む多国籍企業などのお客様に最適です。

(2) 安全な免震構造と効率的な設計による低コスト/グリーン化の推進

SV1 は米国の中では比較的地震が多い地域に立地することから、日本における耐震対策のノウハウを活かし、最先端の免震構造により巨大地震発生時でも、お客様システムへの影響を最小限に留めます。

また、RagingWire は、電気、空調、通信などの設備構築・運用を自社で対応可能なライセンスを保有し、専門の主任技術者を多数擁していることから、より高品質な設備を低コストでお客様に提供することが可能です。SV1 の空調機は、外気温を利用して冷却能力を高めるフリークーリングシステムなど、最新の空冷式システムを採用することで、高水準な省エネを実現します。また、RagingWire が開発したデータセンター設備管理システム「N-Matrix®」を導入し、リアルタイムで電力使用状況の監視や設備の冷却を自動管理するなど、低コスト運用を実現した環境配慮型のデータセンターを提供します。

(3) 各種認証に準拠した安全かつ柔軟な運用サービス

SV1 は、クレジットカード業界のグローバルセキュリティ基準である「PCI DSS」、米国連邦情報セキュリティマネジメント法にもとづく情報保護ガイドライン「FISMA」や米国医療情報保護ガイドライン「HIPAA」に準拠するほか、内部統制に関する有効性証明書である「SSAE16/ISAE3402」を取得します。またオンサイトスタッフによる各種マネージドサービスやリモートハンドサービスなど、安全かつ豊富な運用サービスや会議室、各種アメニティ施設も提供します。

※1：米国におけるデータセンターサービスを利用中の電力量を比較した順位

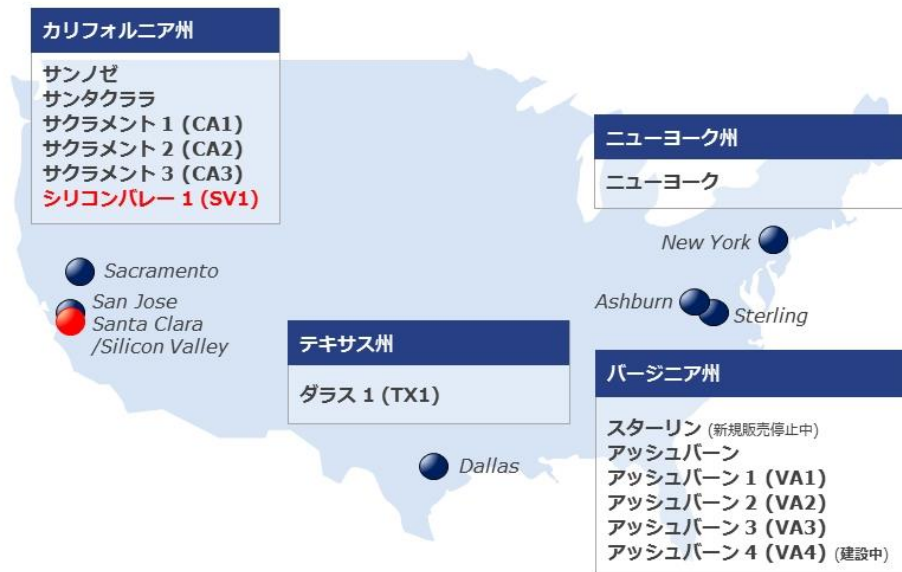
※2：「Nexcenter™」は、NTT Com のデータセンターサービスブランドです。

世界 20 以上の国・地域の 140 拠点以上で、高品質データセンターサービスを提供しています。

(参考) RagingWire 社について

RagingWire 社 (本社：米国 カリフォルニア州サクラメント CEO：Doug Adams) は 2000 年に設立し、米国でデータセンターサービスを提供する、米国における業界のリーダーです。Polycom 社や NVIDIA 社など ICT 企業を中心に約 200 社以上に対する高品質サービスの提供実績があります。2018 年 1 月に NTT Com が完全子会社化しました。

米国のデータセンター拠点



Nexcenter